

男女平等に関する市民意識調査報告書

市では、市民の皆さんを対象に「男女平等に関する意識調査」を実施しました。

このたび、その報告書がまとまりましたので一部をご紹介します。

■調査目的 市民の男女共同参画に関する意識と生活実態を把握し、（仮称）第6次男女共同参画行

動計画策定のための基礎資料とします。

■調査時期 令和元年10月1日～15日

■調査対象等 市内在住の18歳以上の男女（無作為抽出2,000人）

■回収数・回収率 711件・35.6%

■閲覧場所 情報公開コーナー（市役所第二庁舎6

階）、図書館本館、市ホームページ

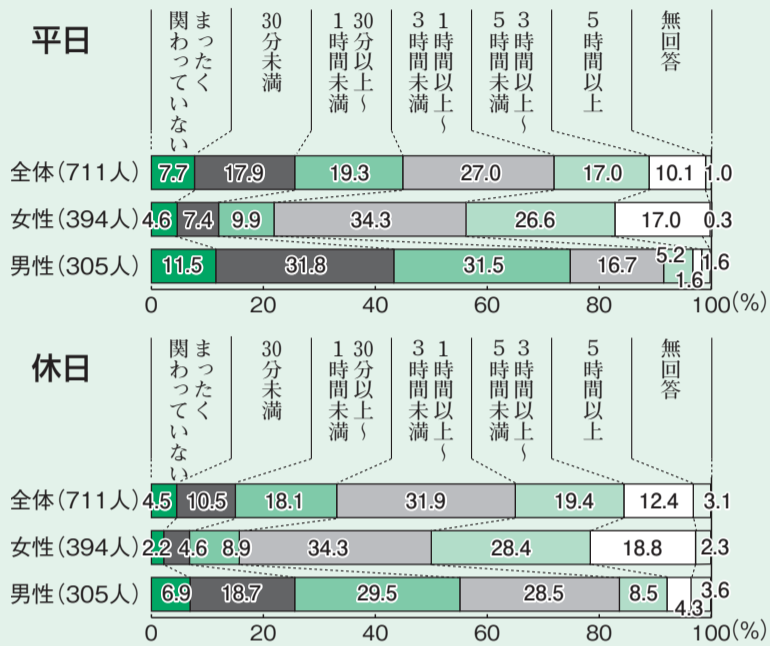
■他 下表のパーセンテージは、四捨五入しているため、合計値が100%にならない場合があります。

■問い合わせ 企画政策課男女共同参画室（☎042-387-9853）

ワーク・ライフ・バランスについて

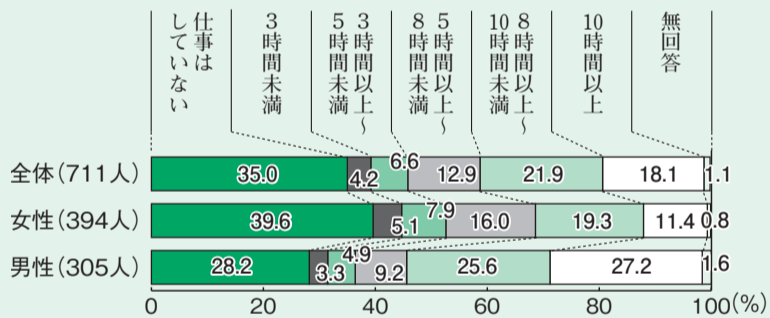
■家事に携わる時間について

◆女性は3時間以上が平日は43.6%、休日で47.2%、男性は平日は6.8%、休日で12.8%で、いずれも女性が多くの時間を割いています。



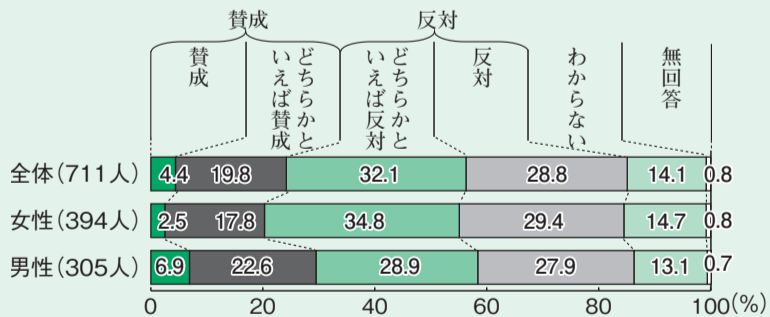
■仕事に携わる時間について

◆8時間以上が女性で30.7%、男性で52.8%となっています。男性は「10時間以上」が27.2%と高くなっています。



■男女の役割分担意識（「男性は外で働き、女性は家庭を守るべきである」という考え方）について

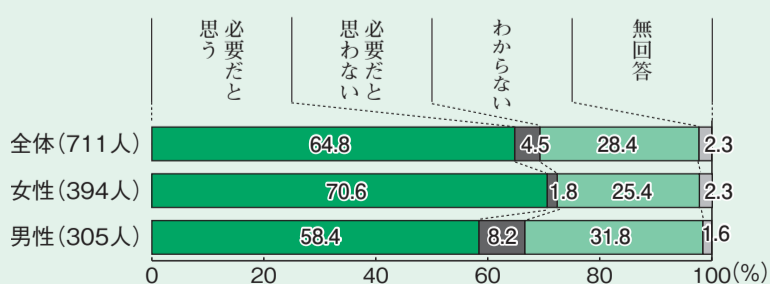
◆女性・男性ともに《反対》の方が多くなっています。



多様な性について

■性的マイノリティ（※）の方への対応について

◆全体として「必要だと思う」が多くなっています。

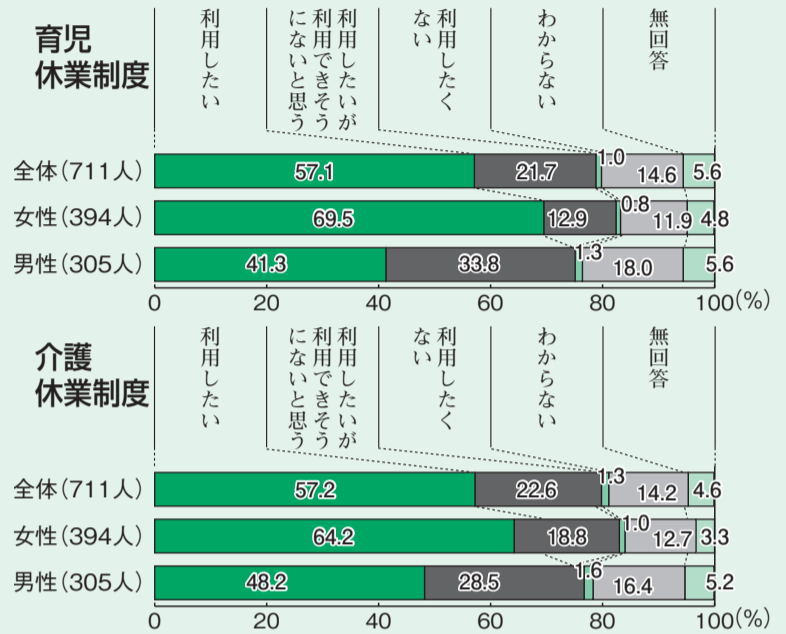


※性的マイノリティは「体の性」と「こころの性」が一致しない状態の方や恋愛感情などの性的な意識が同性や両性に向かう方（同性愛、両性愛）、身体的には性別の区別がつかない方など

子育て・介護について

■育児・介護休業制度の利用意向について

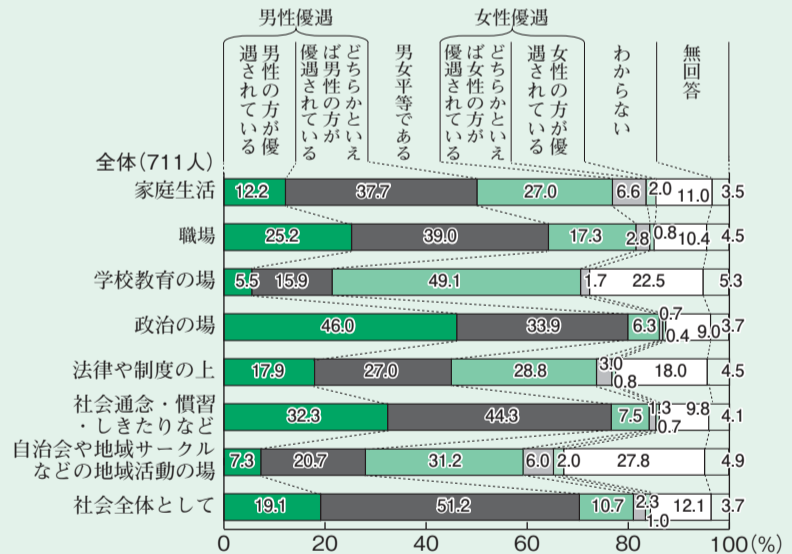
◆女性・男性ともに育児・介護休業を「利用したい」が多くなっています。「利用したいが利用できそうにないと思う」は男性の方が多くなっています。



男女共同参画の推進について

■各分野の男女平等観について

◆男女平等感は、「家庭生活」、「職場」、「政治の場」、「社会通念・慣習・しきたりなど」や「社会全体として」で《男性優遇》が多くなっています。



■男女平等社会を実現するための施策要望について

◆女性・男性とも「子育て支援策の充実」、「女性が働きやすい環境づくりの促進」や「学校で平等意識を育てる教育の充実」が高くなっています。

